

コース名	海外事業の拡充と見直しの進め方			
研修のねらい	<p>海外に進出している中小企業にとって、進出国のビジネス環境が政治、経済、社会、技術、市場等の状況変化に大きく左右されることへの対応や、海外事業の経営管理に潜む種々の脆弱性への確実な対処が強く求められています。その際に重要なことは状況の認識と分析に基づく迅速な経営判断です。</p> <p>本研修では、すでに海外事業を展開している中小企業にとって不可欠な、海外事業の見直しの考え方、情報収集や分析をおこなう知識と、海外事業に生じるリスクのマネジメント手法を習得します。さらに、海外事業の見直しを進めるために、ケース(事例)の検討をおこない、自社の海外事業の拡充や撤退、縮小、移転等の、今後に向けた方策を考察します。</p>			
研修の特長	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外事業の見直しのポイントが学べます</li> <li>海外事業のリスクの把握・分析・評価の方法が学べます</li> <li>海外事業の拡充・撤退・縮小・転進の検討を進めることができます。</li> </ul> <p>◆関連コースのご案内                  No.5「成功するための経営戦略の策定とその実践」2018年8月7日(火)～9日(木)〈3日間〉                  No.37「海外取引のための商談と英文契約の進め方」2018年10月23日(火)～25日(木)〈3日間〉</p>			
研修期間	2018年11月28日(水)～11月29日(木)〈2日間〉			
受講対象者	経営者・経営幹部 ・海外子会社責任者 ・海外事業の行き詰まりに対処したい方 ・経営改善による事業拡充を考えている方。 ※本社経営者と海外子会社責任者のペア参加も効果的です。	定員	25名	受講料 22,000円

月日	時間	科目	内容	講師
11月28日(水曜)	9時20分～9時40分	オリエンテーション		担当職員
	9時40分～12時40分	海外事業の再検討	中小企業の海外事業の現状について 事例に見る海外事業評価 海外事業のリスク管理の重要性	高原 彦二郎 コンサルビューション株式会社 代表取締役社長
	13時40分～16時40分	海外事業のチェック	海外拠点操業後のリスクマネジメント リスクの洗い出し・評価 対策の検討	高橋 敦司 株式会社インターリスク総研 リスクマネジメント第三部 統合 リスクマネジメントグループ グループ長・上席コンサルタント  富樫 容子 株式会社インターリスク総研 リスクマネジメント第三部 統合 リスクマネジメントグループ 上席コンサルタント
11月29日(木曜)	9時20分～16時20分	海外事業の経営改善の検討(演習)	実際に生じた海外事業のケースを使い財務、人事・労務、販路の各分野を主に、問題の在り処と対応策の検討	横山 徹 横山経営コンサルタント事務所 代表
			自社海外事業の改善点の把握と対策案(拡充、撤退、縮小、移転)の検討	山本 邦雄 MCS研究所
		修了証書の授与		当校職員

※カリキュラムは都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。※研修初日の16時50分頃から交流会を開催する予定です。

講師氏名	略歴
高原 彦二郎 (たかはら ひこじろう) コンサルビューション株式会社 代表取締役社長	出光興産株式会社でロンドン・中国・香港に駐在。在職中、中東からの脱出計画策定、テロリスト対応、海外子会社の経営管理、不正対応などの経験をもとにコンサルティング会社を設立。主に中国、アセアンに進出している日系企業を中心にビジネスリスクマネジメント、クライシスマネジメントを提供している。中小企業基盤整備機構の海外事業評価委員の他、NPO中国税務アドバイザー協会理事、ジェトロ中国リスクマネジメント委員等を兼任。著書多数。
高橋 敦司 (たかはし あつし) 株式会社インターリスク総研 リスクマネジメント第三部 統合リスクマネジメントグループ長・上席コンサルタント	1999年東京大学法学部卒業。三井住友海上にて企業法務・コンプライアンスの推進業務に従事後、インターリスク総研で企業のリスク管理、危機管理を担当。特に企業のリスク管理態勢の構築、リスク分析・評価の支援を数多く手掛ける。2015年度の中小機構・海外リスクマネジメント研究会事務局として、「中小企業のための海外リスクマネジメントマニュアル」の作成などを統括した。
富樫 容子 (とがし ようこ) 株式会社インターリスク総研 リスクマネジメント第三部 統合リスクマネジメントグループ 上席コンサルタント	2009年津田塾大学学芸学部国際関係学科卒業。三井住友海上にて商品業務管理・営業業務に従事後、インターリスク総研で企業のリスク管理、危機管理を担当。特に企業のリスク管理及び海外危機管理態勢の構築に関する支援を数多く手掛ける。2015年度の中小機構・海外リスクマネジメント研究会事務局として、「中小企業のための海外リスクマネジメントマニュアル」に参画
横山 徹 (よこやま とおる) 横山経営コンサルタント事務所代表	東京大学農学部を卒業後、総合商社の食料・食品部門に27年間勤務、アジアを中心にビジネスを組み立ててきた。その間に、インド・台湾に各4年間駐在、台湾では通常の貿易業務のみならず、中華料理屋、トンカツ屋、カレーショップの経営及びハム・ソーセージメーカー、スーパーマーケットの経営にも関与している。インドでは食品の貿易業務にとどまらず漁業への取り組み、縫製工場の設立運営にも従事してきた経験を持っている。常に現場に軸足を置き、食品加工の技術屋としての視点でセールスエンジニア的商社マンをモットーに活動してきた経歴を持っている。現在、中小機構のシニアアドバイザー(国際化支援)も務めている。
山本 邦雄 (やまもと くにお) MCS研究所	1979年 同志社大学工学部電気工学科卒。1980年、横河電機入社しプロセスコンピュータMESなどパッケージ開発、システムSEを担当した。2010年 名古屋商科大学院MBA卒。2015年 MCS研究所設立。大企業・中小企業の現場改善コンサルティング、システム開発に取り組んでいる。生産管理、BCP、ISO、IT(ERP、MES、IOT、SCM、スケジューラーなど)、現場改善、自動制御、を専門分野とし、中小企業診断士、経営革新等認定支援機関、知的財産管理士、販売士1級、マイナンバー管理アドバイザー、MBA、ECO検定等の資格を有する。

# 30年度コース別受講申込書

FAX 042-590-2685

★この申込書は当校で受領後、受講者情報右欄の受付状況を記載して、折り返しFAXします。必ずご確認ください。

中小企業大学校 東京校長 あて

年 月 日

フリガナ			代表者役職		
会社名			代表者氏名		
所在地	〒 都 道 府 県				
TEL			FAX		
主要取扱品目			資本金	万円	従業員数 人
業種 <small>該当区分に○印をつけてください</small>	E.製造業 I-1.卸売業 I-2.小売業 R.サービス業 D.建設業 G.情報通信業 H.運輸業 M.旅館業 Z.その他 ( )	業種分類 <small>製造業の方は 該当区分に○印を つけてください</small>	9.食品 10.飲料 11.繊維 12.木材 13.家具 14.紙 15.印刷 16.化学 17.石油 18.プラスチック 19.ゴム 20.皮革製品 21.窯業 22.鉄鋼 23.非鉄金属 24.金属製品 25.はん用機械 27.業務用機械 28.電子部品 29.電気機械 30.情報通信機械 31.輸送用機械 32.その他製造業		
研修を知った きっかけ	1.ダイレクトメール 2.研修ガイド 3.ホームページ 4.受講者の紹介 5.商工団体等 6.金融機関 7.新聞・雑誌・テレビ・ラジオ 9.県市等の機関紙 10.展示会等 11.その他( )			メールマガジンの 送信可否	可 ・ 不可
				人材育成計画作成 への関心	ある ・ ない
連絡担当者	フリガナ		部署		
	氏名		役職	担当者 E-mail	

コースNo.	<b>No. 7</b>	コース名	<b>海外事業の拡充と見直しの進め方</b>
--------	--------------	------	------------------------

受講者情報 ①	フリガナ		年齢		性別		部署		受付状況 ①	受講できます 「受講決定通知兼振込依頼書」を開講の約1ヶ月前に事務連絡担当者様へ発送します。		
	氏名				男 女		役職					
	受講者 E-mail		該当区分に○印をつけてください		1.代表者 2.役員 3.管理者 4.管理者候補							
	【入寮申し込み】必ず受講者本人にご確認をお願いします。概要する項目に○印をつけてください。											
	入寮の有無	→	入寮日		退寮日							
入寮する 入寮しない	入寮する場合	研修開始日 の前日	研修開始日	~	研修終了日 の翌日	研修終了日 の翌日	キャンセル待ち 番です キャンセルが発生次第、ご連絡します。					

受講者情報 ②	フリガナ		年齢		性別		部署		受付状況 ①	受講できます 「受講決定通知兼振込依頼書」を開講の約1ヶ月前に事務連絡担当者様へ発送します。		
	氏名				男 女		役職					
	受講者 E-mail		該当区分に○印をつけてください		1.代表者 2.役員 3.管理者 4.管理者候補							
	【入寮申し込み】必ず受講者本人にご確認をお願いします。概要する項目に○印をつけてください。											
	入寮の有無	→	入寮日		退寮日							
入寮する 入寮しない	入寮する場合	研修開始日 の前日	研修開始日	~	研修終了日 の翌日	研修終了日 の翌日	キャンセル待ち 番です キャンセルが発生次第、ご連絡します。					

- 1) 入寮希望の有無・入寮日は、受講者本人に確認をお願いします。なお、入寮時の部屋割りご希望に添えない場合があります。
- 2) より多くの方が受講できるように、原則として1コースあたり1社2名様までのお申し込みといたします(一部コースを除く)。2名様をこえる場合はキャンセル待ちとなります。ご理解くださいますようお願い申し上げます。
- 3) 「経営後継者研修」「経営管理者研修」の申込書は、別様式です。専用パンフレットをご請求ください。

個人情報保護 について	個人情報保護法に定義される個人情報に該当する情報については、中小機構内で実施する事業で使用します。当該個人情報の第三者(業務委託先を除く)への提供または開示はしません。ただし、お客様の同意がある場合および、法令に基づき要請された場合については、当該個人情報を提供できるものとします。
----------------	---

大学校使用欄
--------